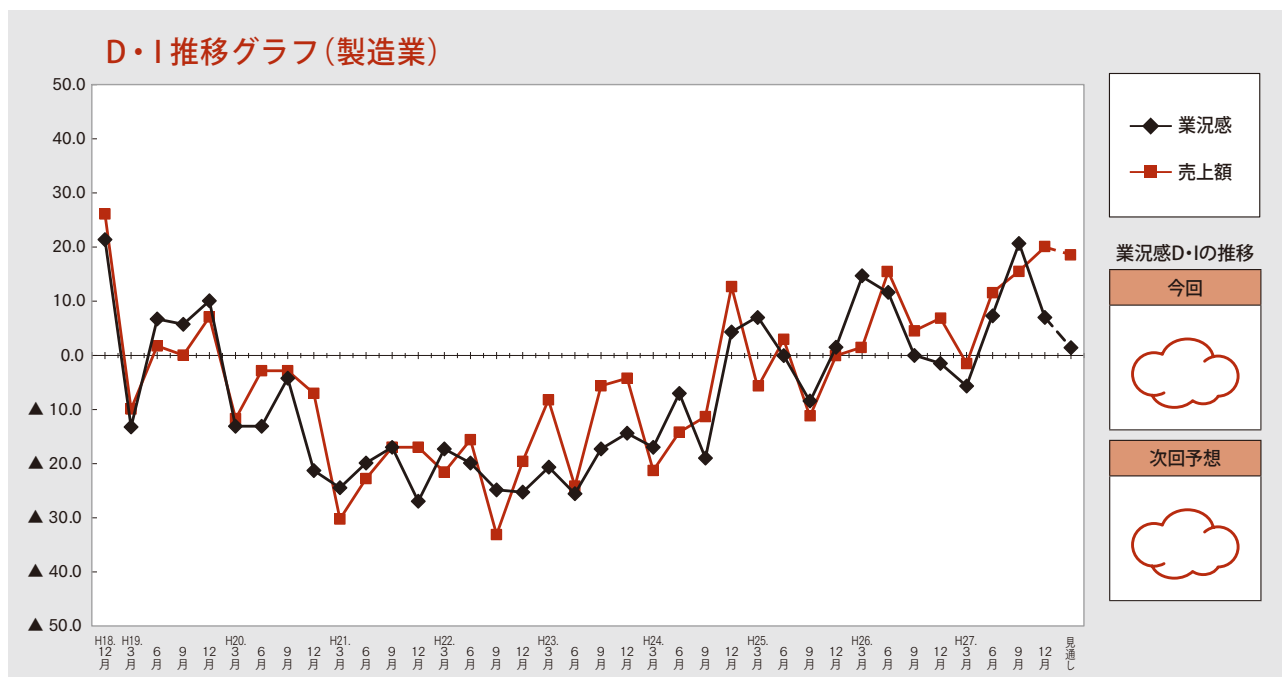


# 製造業

Manufacturing

# 3期ぶりに業況感が悪化



## 1 今期 (平成27年10-12月期)

今期の製造業の業況感は、7.1 (前期20.3)となり、前期比で13.2ポイント下降した。前期・前々期と2期連続で2ケタのD・I回復を見せており、その他のD・I値が改善傾向にあることから、前期までの大幅回復の反動が表れたものと考えられる。

仕入価格が▲18.6と前期から2.9ポイント悪化しているが、その他の項目では比較的堅調に推移しており、売上高4.3ポイント回復、収益D・Iも14.3となり、前期比4.2ポイント回復している

## 2 来期の予想 (平成28年1-3月期)

来期の業況感は1.4と今期から5.7ポイントのマイナス予想となっており、今期に引き続き景気の悪化が懸念される。

また、今期は改善していた多くの項目でも悪化が懸念されており、売上高の減少、販売価格の下落等の要因から、収益D・Iが大きく悪化している。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H26. 12月期	H27. 3月期	H27. 6月期	H27. 9月期	H27. 12月期	来期 見込み
業況感	▲ 1.4	▲ 5.7	7.1	20.3	7.1	1.4
売上額	6.9	▲ 1.4	11.4	15.7	20.0	18.6
収益	▲ 2.8	▲ 11.4	10.1	10.1	14.3	2.9
販売価格	12.5	8.6	8.7	8.6	11.4	4.3
仕入価格	▲ 44.4	▲ 24.3	▲ 31.9	▲ 15.7	▲ 18.6	▲ 14.3
在庫	2.8	2.9	0.0	5.7	2.9	2.9
資金繰り	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 2.9
人手	11.1	2.9	15.7	10.0	18.6	20.0
設備状況	9.9	10.0	5.7	12.9	15.7	17.1

## 業況調査メモ

鹿児島県産本格焼酎の2014酒造年度(14年7月～15年6月)の出荷量は前年度比6.4%減の12万2807klで、宮崎県の12万9589kl(同3.8%増)を下回り、11期ぶりに2位になった。さらに原料別出荷量で本県産芋焼酎は同7.1%減の9万3040klに対し、宮崎県は10万3131kl(同6.5%増)。芋焼酎で本県が初めて宮崎県を下回り2位となった。宮崎県産焼酎の約65%を占める霧島酒造(都城市)が「黒霧島」で全国的に攻勢を強めているのが主因だが、本県の特徴は113社が個性を競い合っていること。消費者ニーズに合致した新商品開発や品質向上、営業強化、効果的な情報発信で本家の意地を見せたい。